

「有難う」は成長の言葉

校長 高田 晶子

春の日差しがささやくように、優しく色美しい花々が咲き始めました。休日もPTA環境施設部の方が当番で水やりをしてくれています。本当にありがとうございます。

右の絵は、元郷中学校の生徒たちは、「新しいものを吸収する力と、大切なものを受け継ぐ力がある」と、井戸教諭が表現してくれました。春らしく、装い新たな気持ちになります。



さて、毎月学校に送られてくる「生命尊重ニュース」から、東寺僧侶 山田忍良氏が寄稿されていたページより素敵な言葉を紹介したいと思います。

「おはよう」は、感動の言葉

ひょっとしたら昨日で終わっていたかもしれない命が、今日という日を迎えた。「昨日と今日が思いがけなくも出会った」という感動の言葉。

「いただきます」は、感謝の言葉。

その食材を作ってくれた人、運んでくれた人、調理してくれた人への感謝を表すと共に、命を捧げてくれた動物や野菜等への「命をいただきます」という深い感謝の言葉。

「有難う」は、成長の言葉。

苦難が来るたびに自分を深めることができる。難があるたびに自分を深める絶好のチャンスが来た。行き詰った時が、自分を見つめる最大のチャンス。自分の内面を深めることによって、その困難を乗り越えていく。「難有り」と喜ぶ。これが「有難う」という言葉。

日常使われる当たり前の言葉ではありますが、言葉の由来を改めて振り返ってみると、言葉の意味を理解するだけでなく、心で受け止めることができ、気持ちが落ち着いてきます。例えば、「ありがとう」という言葉は、感謝の言葉だとばかり思っていました。人に感謝の気持ちを表すということは、そこに自分の内面の成長があるということでしょうか。奥の深い言葉なのだと感じます。皆さんはいかがでしょう。

3年生の保護者の皆様には、元郷中学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後は、地域から元郷中学校を見守っていただければ幸いです。3年間本当に有難うございました。